

2019年度予算書の概要

学校法人 神戸薬科大学

2019年度予算書は、2018年12月19日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱を基に、その内容の見直しを行うとともに、予算大綱承認以降に採り上げた新規予算項目を織り込み作成した。主な予算書である資金収支予算書及び事業活動収支予算書の概要については以下のとおり。

1. 資金収支予算書

(1) 資金収入

学部学生数減による学生生徒等納付金収入の減額、学部入学志願者数減による手数料収入の減額、男子寮廃止に伴う付随事業・収益事業収入の減額の他、退職金財団からの退職資金交付金の減少に伴う雑収入の減額などにより、単年度の収入の合計は前年度比63,100千円減の3,804,600千円を見込む。

【科目別内容】

① 学生生徒等納付金収入

学部納付金は学生数を前年度比30名減の1,695名（新入生270名、2年次～6年次生1,425名）と想定し3,030,000千円と見込み、入学金142,200千円、大学院納付金8,000千円及びその他と合わせて前年度比46,000千円減の3,190,300千円を計上した。

② 手数料収入

学部入学検定料は入学志願者数を前年度比300名減の2,400名と想定し78,000千円を見込み、その他の手数料と合わせて前年度比10,400千円減の92,800千円を計上した。

③ 寄付金収入

奨学寄付金12,000千円、教育研究資金募金5,000千円他で前年度同額の20,000千円を計上した。

④ 補助金収入

経常費国庫補助金は特別補助を含め250,000千円及びその他の補助金と合わせて前年度比4,000千円減の250,100千円を計上した。

⑤ 付随事業・収益事業収入

補助活動収入は2018年度末の男子寮の廃止や前年度に計上した如修塾改修に伴う寮生の一時転居にかかる寮生負担費用受入分がなくなることから24,800千円を見込み、受託事業収入5,000千円と合わせて前年度比19,000千円減の29,800千円を計上した。

⑥ 受取利息・配当金収入

運用資金の期中平残予想115億円を、利回り平均0.36%で運用するとして、前年度比4,700千円減の41,600千円を計上した。

⑦ 雑収入

退職金財団からの退職資金交付金65,000千円、科研費間接経費18,500千円、企業との共同研究経費3,750千円他で前年度比22,000千円減の95,000千円を計上した。

⑧ その他の収入

第2号基本金引当資金（大型機器充実資金）40,000千円取崩、退職給与引当資金27,000千円取崩他で前年度比24,000千円増の154,000千円を計上した。

(2) 資金支出

教育研究経費支出が1号館アスベスト除去費用計上により増額となるが、職員数減や退職金支出の減少による人件費支出の減額や前年度に計上した如修塾改修工事費や改修に伴う諸経費がなくなることによる施設関係支出及び管理経費支出の減額により、単年度の支出の合計は前年度比524,900千円減の3,942,400千円を見込む。

【科目別内容】

① 人件費支出

教員数を前年度同数の87名、職員数を前年3名減の43名と見込み、教育研究支援職員16名及び非常勤教員とアルバイト職員他の給与に定年退職者3名の退職金を合わせ、前年度比53,600千円減の1,701,900千円を計上した。

②教育研究経費

長期実務実習・共用試験関係費 223,700 千円、電子ジャーナル・データベース利用料 75,300 千円、学部・大学院奨学金 39,300 千円、学長裁量経費 25,000 千円、国家試験対策関連費 20,000 千円などの経常経費に加え、1号館アスベスト除去費用 100,000 千円、図書館システム更新 27,500 千円などの新規案件があるため前年度比 99,400 千円増の 1,276,200 千円を計上した。

③管理経費支出

茶室解体工事 8,500 千円、新 2・3 号館建設調査費用 5,000 千円、学内樹木伐採工事（危険倒木対策） 4,600 千円、人事・給与システムカスタマイズ費用 4,000 千円、ききょう会館北側斜面对策工事 3,500 千円などの新規案件があるが、前年度に計上した如修塾改修に伴う諸経費がなくなることや経常経費の削減により前年度比 87,000 千円減の 294,900 千円を計上した。

④施設関係支出

1号館と3号館、4号館と5号館の渡り廊下鉄骨改修 23,300 千円、ききょう記念ホール改修 7,000 千円、危険物倉庫移設 5,000 千円、5号館エントランスホール照明改修 4,000 千円などの新規案件があるが、前年度の如修塾改修のような大型支出がなく前年度比 454,500 千円減の 44,400 千円を計上した。

⑤設備関係支出

コンピュータ演習室 PC 更新 70,000 千円、大型機器 (MALDI-TOF-MS) 更新 40,000 千円、11号館照明器具更新 17,500 千円、4号館空調機更新 16,000 千円、放射線管理室 β線ガスモニタ及び中央監視装置更新 9,800 千円、事務用パッケージシステムサーバ更新 6,700 千円、関係委員会選定の研究用機器 21,000 千円や実習用機器 8,500 千円他で前年度比 16,200 千円減の 242,400 千円を計上した。

⑥資産運用支出

第 2 号基本金引当資金（教育環境整備資金）300,000 千円、第 2 号基本金引当資金（施設設備整備資金）50,000 千円、研究充実準備積立金 5,000 千円の各積立により前年度比 20,000 千円減の 355,000 千円を計上した。

(3)繰越支払資金

単年度の収入の合計 3,804,600 千円から単年度の支出の合計 3,942,400 千円を差し引いた収支は 137,800 千円の支出超過となることから、翌年度繰越支払資金は期首から 137,800 千円減の 754,200 千円となるが、前受金収入 387,200 千円は維持できる見込み。

2. 事業活動収支予算書

(1)教育活動収支

収入については、学生生徒等納付金をはじめ、手数料、付随事業収入、雑収入の減額により、全体で前年度比 101,400 千円の減額を見込む。一方、支出については、管理経費を中心に経費削減に努めるも、教育研究経費に 1 号館アスベスト除去費用 100,000 千円の特殊要因による支出を計上するため、全体で前年度比 12,900 千円の減額に留まり、収支は 170,500 千円の支出超過（前年度比 88,500 千円減）を見込む。

(2)教育活動外収支・特別収支

受取利息・配当金の収入のみの計上であり、41,600 千円の収入超過（前年度比 4,700 千円減）を見込む。この結果、教育活動収支と教育活動外収支の合計である経常収支は 128,900 千円の支出超過（前年度比 93,200 千円減）を見込む。特別収支は計上なし。

(3)基本金組入

施設関係支出 44,400 千円、設備関係支出 242,400 千円、資産運用支出のうち第 2 号基本引当資金 350,000 千円の合計 636,800 千円の組入を行う一方、耐用年数が経過した機器・備品の除去に伴う取崩 126,500 千円、第 2 号基本金引当資金（大型機器充実資金）40,000 千円の取崩を行うため、差し引き 470,300 千円（前年度比 377,000 千円減）の基本金組入を見込む。

(4)繰越収支

経常収支に特別収支及び予備費 20,000 千円を加えた基本金組入前当年度収支は 148,900 千円の支出超過（前年度比 93,200 千円減）を見込む。これに基本金 470,300 千円を組入れした当年度収支は 619,200 千円の支出超過（前年度比 283,800 千円増）となり、さらに前年度繰越収支 174,300 千円の支出超過を加えた最終的な翌年度繰越収支は 793,500 千円の支出超過（前年度比 31,400 千円減）を見込むため、これまで以上に経費削減に努める方針である。